



令和3年3月19日(金)

校長室より (204)



こんにちは。

卒業式で、6年生に向けて「最初で最後の授業」を5分間だけしました。

おはようございます。

本日、巣立ちの日を迎えた152名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんは日本、いや世界の歴史に残る大変な出来事できごとの中で小学校生活最後の1年間を過ごしました。昨年りんじきゅうこうきかんの3月から始まった臨時休校期間が5月いっぱいまで続き、教員生活30年を超える私ですら、経験したことのない「6月スタート」になりました。

学校は始まったものの、「手洗い マスク ディスタンス」、そして「検温」が欠かせない、大変きゅうくつ窮屈な日々になりました。

学校生活ではなくてはならないはずの「行事」ぎょうじできえ、次々と中止に追い込まれました。みなさんが何よりも楽しみにしていたであろう「修学旅行中止」しゅうがくりょこうちゅうしの連絡が教育委員会からきたときは、いくら予想していたとはいえ、やりきれない気持ちになりました。しみんりくじょうたいかい えきでんたいかい市民陸上大会や駅伝大会、すいそうがく吹奏楽やサッカー、ミニバスケットボールなどの部活動の大会もほとんどできませんでした。

「6年生にしかできない。」「6年生になったらがんばりたい。」「下級生に教えてあげたい。」と
思って、今年を心待ちにしていた人も、たくさんいたと思います。

そんな状況でしたが、みなさんは、常に前を向き、最上級生として、模範となる姿を下級生や私たちに示してくれました。

10月末の運動会で見せてくれた「集団行動」は、私がこれまで見た、どの6年生の演技よりも素晴らしいものでした。今でも「YOASIBI」の曲を耳にすると、ベランダから見たみなさんの練習の様子が蘇ってきます。委員会活動やクラブ活動、なかよし集会では、リーダーシップを發揮して活動してくれました。そして、先日の「6年生を送る会」。発表は動画になってしまいましたが、「さすが6年生」と思わせる内容が随所で見られました。

修学旅行の代わりに行った「マザー牧場」は、忘れられません。霧の中のドライブ、霧の中のオリエンテーリング、霧の中のお弁当、そして霧の中の遊園地。全部「霧の中」になってしまいましたが、霧を吹き飛ばすようなみんなのはしゃぎ声に誘われて、私もジェットコースターに乗らずにはいられなくなってしまいました。楽しかったですね。

私は校長になったばかりの1年生なので、今、目の前にいるみなさんは「最初の卒業生」になります。この1年間のこと、そして今日の卒業式のことはずっと忘れないでしょう。みなさんは、6年間の小学校生活の思い出を大切に、4月からの中学校生活をスタートさせてください。

(中略)

最後に卒業生のみなさん、ここから卒業式らしい話を少しだけします。

卒業文集にも書かせてもらいましたが、なんでもいいので「夢」を持ってください。その「夢」が決まったら、それを紙に書いたり、言葉にしたりして、おうちの方や友達に伝えてください。何かしらの形で表現しておく、自ずと少しずつ夢に近付いていくはずですよ。

がんばれ、はちのこ卒業生。

卒業おめでとう

修了式まで あと 4日